

第5章

計画の推進に向けて

- 1 推進体制
- 2 進行管理

第5章 計画の推進に向けて

1 推進体制

緑の将来像「まちと緑と つながるしあわせ かかみがはら」の実現に向けて、緑が多様な機能を発揮するためには、市民、市民団体、民間事業者、行政の多様な主体が、個々に取り組むだけでなく、それぞれの役割を理解して互いに連携しながら取り組むことが重要です。

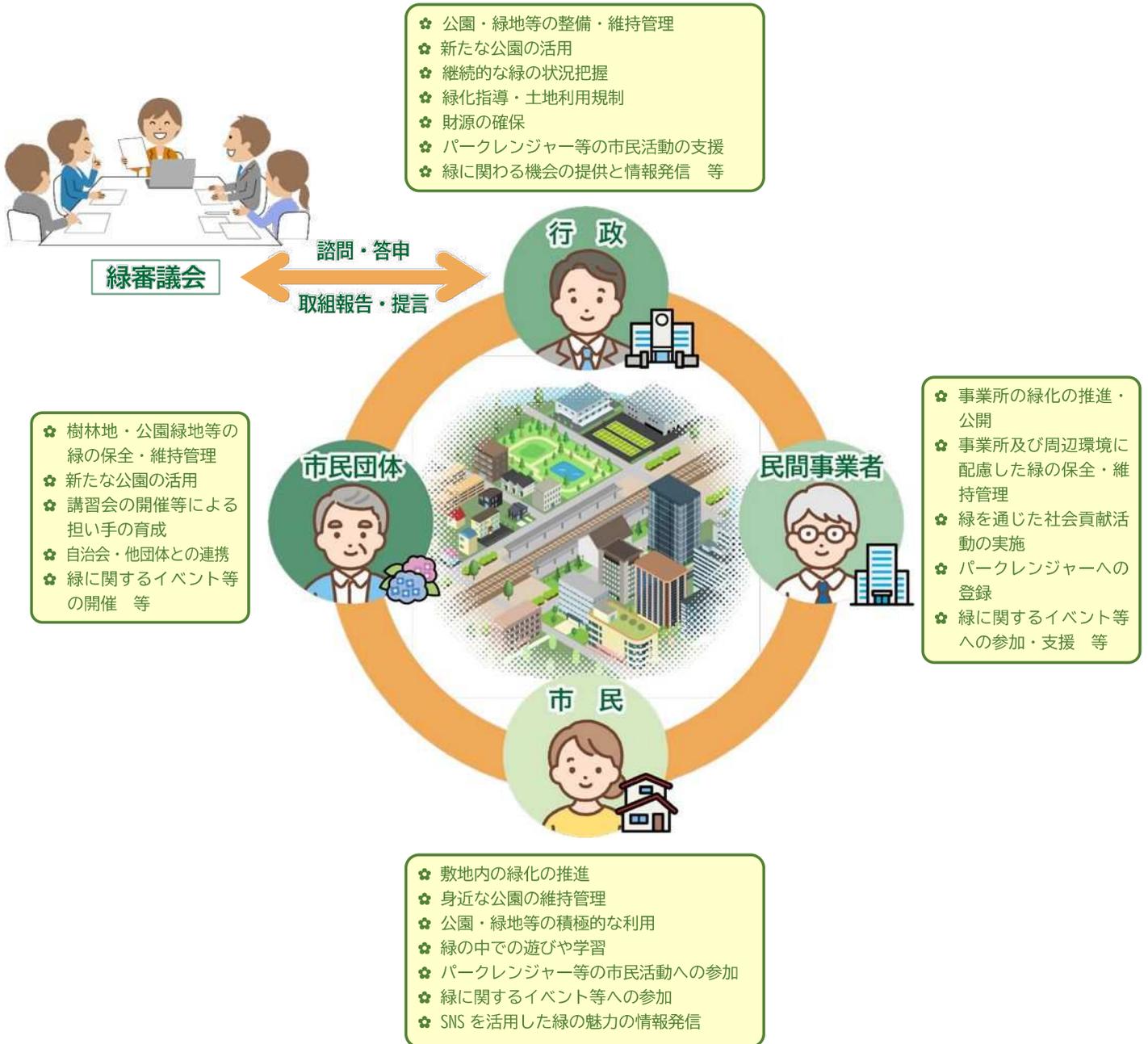


図5-1 役割のイメージ

2 進行管理

(1) 基本的方針

緑の基本計画を効率的・効果的に推進するため、PDCAサイクルによる進行管理を行います。このPDCAサイクルは、計画全体（10年間）だけでなく、個々の施策レベルでも活用します。

また、計画の進行状況を把握するため、第3章に目標指標を設定しています。施策の進行状況を継続的にモニタリングし、より実効性のある計画としていきます。

(2) 社会情勢の変化への対応

今後10年間、本計画に基づき施策を展開していきますが、社会情勢がめまぐるしく変化しても、その状況に応じて適時適切に施策を講じていかなければなりません。

そのため、OODA（ウーダ）ループの考え方を取り入れます。OODAループは、「Observe」（観察）⇒「Orient」（状況判断）⇒「Decide」（意思決定）⇒「Act」（行動）の4段階を繰り返すことによって、現状を把握・分析し、時代や環境の変化に即応し、迅速に意思決定を行っていく手法です。

計画期間において、社会情勢の変化や多様化する市民ニーズを常に把握し、的確に対応するため、PDCAサイクルにOODAループの考え方を取り入れ、より効果的に施策を推進します。

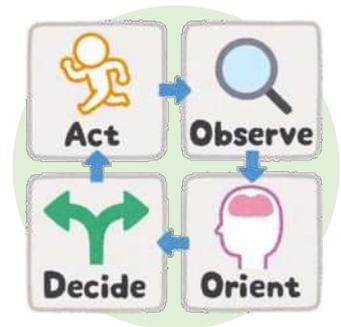


図 5-2 OODA ループのイメージ

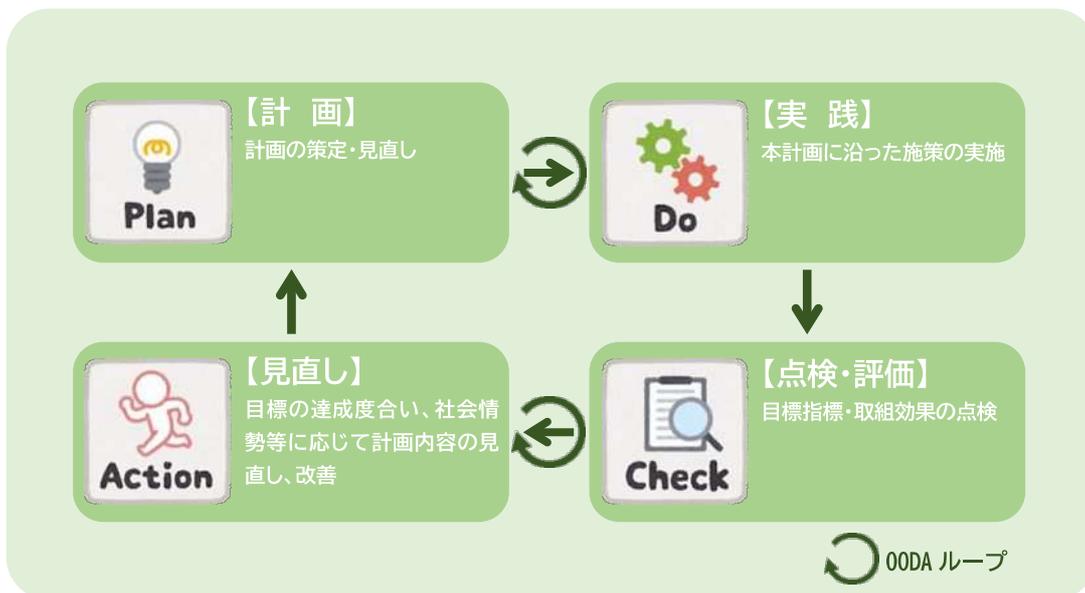


図 5-3 進行管理の全体イメージ



Reference

PDCAサイクルとOODAループの関係

OODAループは、PDCAサイクルの代替ではなく、相互に補完する関係であることから、相乗効果が期待できます。PDCAサイクルを1回回すために、OODAループを2回回します。

① Plan（計画）を立てるとき

Observe（観察）⇒ Orient（状況判断）⇒ Decide（意思決定）を行い、Act（行動）＝ Do（実行）につなげます。

② Check（評価）するとき

Observe（観察）⇒ Orient（状況判断）⇒ Decide（意思決定）を行い、Act（行動）＝ Action（見直し）につなげます。